

CDEJ

Certified **D**iabetes **E**ducator of **J**apan

CDEJ（日本糖尿病療養指導士）とは？

- 糖尿病治療にもっとも大切な患者さんの自己管理（療養）を指導する医療スタッフ
- 高度で幅広い専門知識をもち、患者さんの糖尿病セルフケアを支援
- 一定の経験を有し試験に合格した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられる資格

CDEJ に認定されるには？

1. 認定試験の受験資格(2025年度から変更)

- ① 医療職の資格(看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士のいずれかの資格を有する)
- ② 一定の条件を満たす医療施設に勤務し、過去10年以内に通算2年以上(※)糖尿病療養指導業務に従事した方で、かつこの間に通算1,000時間以上糖尿病患者の療養指導を行ったこと
 - ※業務従事期間が継続6カ月に満たない場合は算入不可とします。ただし、異動、転職等により施設を変更した場合、1施設で6カ月未満でも、変更前後の期間合わせて継続6カ月以上あれば、算入可とします
- ③ 上記期間中に、自分が携わった糖尿病療養指導の自験例を10例有する
- ④ 認定機構の講習(受験者用)を受講修了している

CDEJ に認定されるには？

2. 申請書類を提出する 受験資格審査

3. 認定試験を受ける ⇒ 合格 「客観試験」と「糖尿病療養指導自験例の記録」の総合評価 ※「客観試験」は1～2月にCBTで実施

4. 認定期間は5年間 5年毎に更新

認定更新

1. 認定更新の条件

- ① 認定機構が認める施設で通算3年以上糖尿病療養指導の業務に従事している
- ② 認定機構主催の講習会(認定更新者用)を1回以上受講し、修了している
- ③ 自己の医療職研修20単位および糖尿病療養指導研修20単位を取得している
- ④ あらたな糖尿病療養指導の自験例を10例以上有している

2. 認定期間延長

特別な事情(育児、介護、病気療養など)で更新が不可能の場合、認定期間を延長することができる

糖尿病療養指導チームメンバーの役割分担(例)*

糖尿病療養指導ガイドブック より

療養指導項目	医師	看護師 准看護師	管理栄養士 栄養士	薬剤師	臨床検査技師	理学療法士
糖尿病の診断、治療方針の決定	●					
療養における自己管理の意義	○	○	○	○	○	○
療養上の課題/問題把握**	●	●	○	○	○	○
食事療法の概要	○	○	○	○	○	○
栄養管理の意義	●	○	●			
献立・調理の理論と実践	○		●			
薬物治療の概要	○	○	○	○	○	○
薬剤の作用機序	●			●		
服薬指導	○	○		●		
自己注射指導	○	●		●		
糖尿病に関する検査の概要	○	○	○	○	○	○
検査の意義	●	○	○	○	●	○
血糖自己測定	○	○		○	○	
運動療法の概要	○	○	○	○	○	○
運動の種類と効果	●					●
運動の実践方法と評価	○	○				●
療養指導の計画と立案	●	○	○	○	○	○
療養指導の実践と評価	○	●	○	○	○	○

○：一般的であるが患者教育として必要なもの、●：特に専門知識を必要とするもの

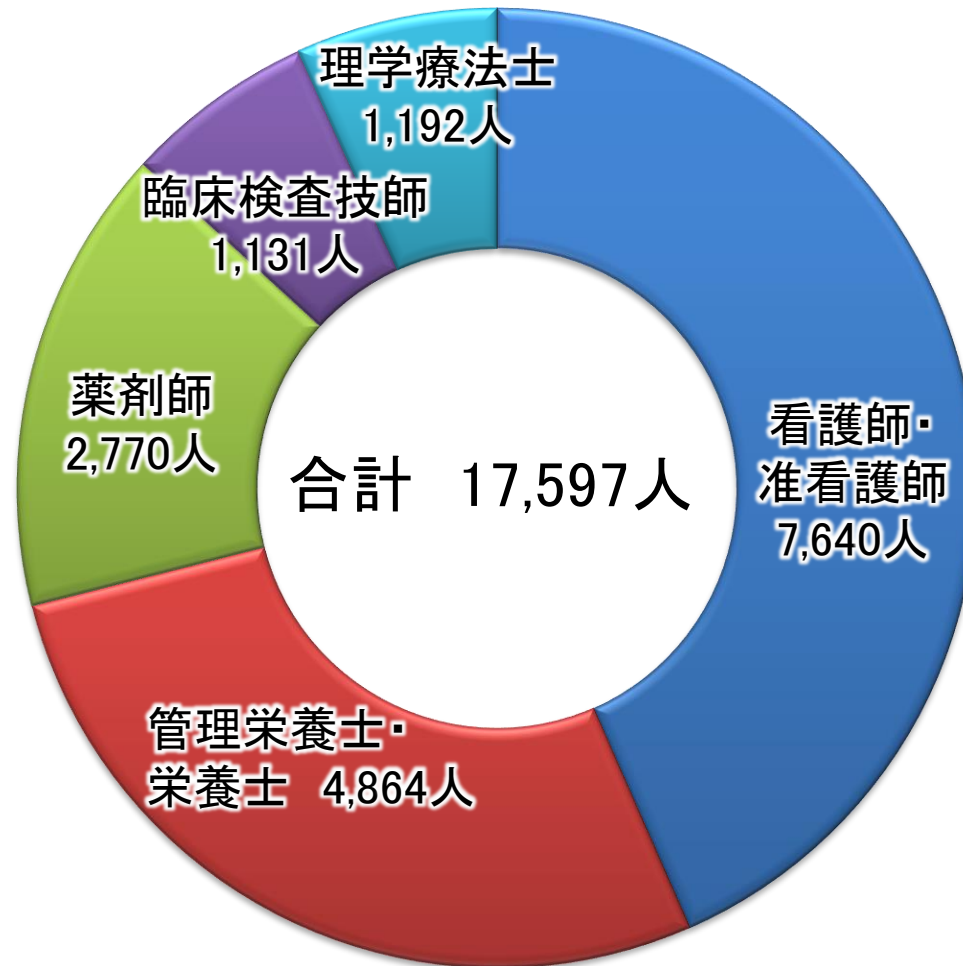
*:この表は各職種の役割分担の1例である。表に示した●の役割を担う、医師以外の職種がない施設では、医師、あるいは医師の指示のもとで他の職種がその役割を分担する。

**：療養上の知識・生活経験に関して、情報収集・アセスメントし、過大や問題点を明確化する。

© CDEJ認定機構



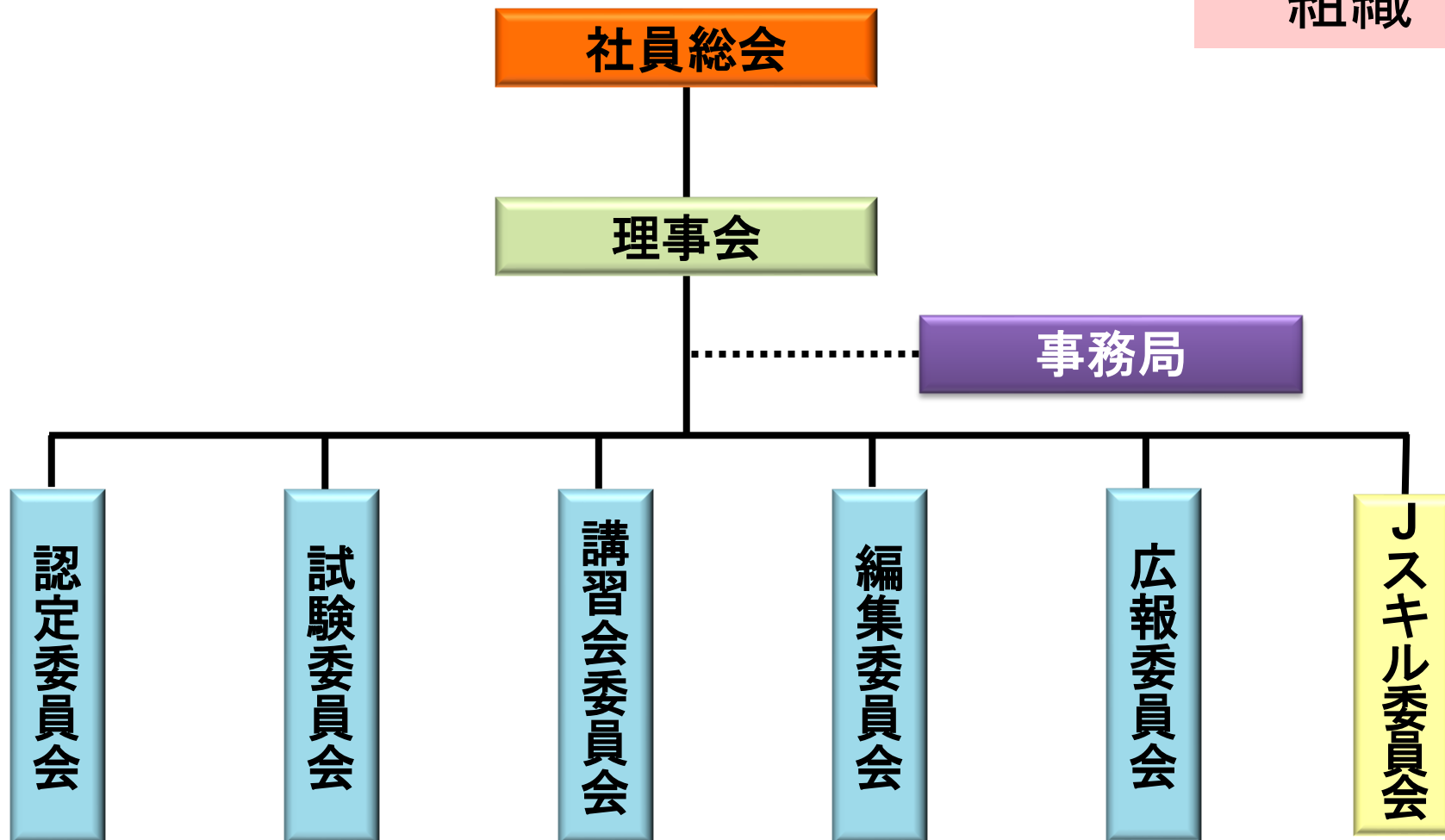
CDEJの数



2025年6月現在（准看護師、栄養士の受験は第5回認定試験まで）

CDEJ認定機構

組織



CDEJ認定機構

主な事業（活動）

1. 講習会の開催

受験者用講習を実施

認定更新者用の講習会を開催

2. 認定試験の実施

年1回（「客観試験」と「自験例の記録」）

3. ガイドブックの発行

「糖尿病療養指導ガイドブック」（毎年発行）

4. 認定証の交付

認定試験合格者・更新者に「日本糖尿病療養指導士」の認定証を交付

5. 認定資格の審査

認定試験受験資格審査、認定更新審査（5年毎）、認定期間延長審査など

6. 広報活動

CDEJ News Letterの発行（年4回）、Webサイトの運営など

7. Jスキルコース

単位の取れるeラーニングの制作